Asterisk: An Open Source PBX

Asteriskの日本における動向

Asteriskとは?

- 業界初のオープンソースPBX
- フルセットのPBX(もちろんIP PBX)
- Digium社長のMark Spencer氏が創始者
- 最初の正式版(Version 1.0.0)は2004年9月にリ リースされた
- オープンソースのアプリケーションとしては若い
- Digiumによれば現在のインストール・ノード数は全世界で約100万程度と見積もられる
- 日本でのユーザ数/インストール・ノード数は(未だ) 不明

Asterisk: 低い要求仕様

- 主にLinuxプラットフォーム上で動作 IA系、PowerPC系で実績あり
- 最低の条件としてPentium III 800MHz程度 ただし、これ以下でも条件によっては使用に耐える
- Linuxベースのルータ・ボードでも動作実績あり
- 対応できるシステム規模の範囲が広いためホーム PBXからキャリア・レベルの交換機まで
- エンベデッドLinux系 Asteriskアプライアンスへの期待が大きい

Asteriskのバージョン

- 2008年1月
 Asterisk 1.4.x
 Asterisk 1.6β1
- 新バージョン(1.4.0)は2006年12月27日にリリース された。現在1.6リリースに向けβテスト中
- 1.6のリリース予定は2007年12月だった 順調に遅れています
- 現在の主流はAsterisk 1.4系
- AsteriskNOWもβだが今後が期待される

Asteriskの派生プロジェクト

- AstLinux
 コンパクトなLinuxを含むディストリビューション
 主にルータボード(WRAPなど)で利用されている
- TrixBox
 旧称Asterisk@Home
 管理ツールなどGUIを含むディストリビューション
- AsteriskNOW!
 純正のディストリビューション
 Linuxを含みブラウザ管理可能としたもの
- その他 海外では増えている

Asterisk: 日本における状況

- Turbo Linux(現在はLASER5に移管)
 InfiniTalk: OSSのAsteriskベース
- NTTデータ Astima: OSSのAsteriskベース
- NTTソフトウェア
 Asterisk Business Editionを採用
- モバイルテクニカ xCube: OSSのAsteriskベース

などなど、増加傾向にある

Asterisk: 日本における状況

- コミュニティ これまで、はっきりとした形では存在していなかった
- 高橋のWiki(VoIP-Info.jp)が事実上のコミュニティ として機能
- 日本Asteriskユーザ会が2007年5月17日に設立
- 現在のところ単なるユーザ会
- OSCを中心に出展/講演を実施
- 日本での知名度はいまひとつ低い

Asteriskのサポートするプロトコル

- Zap(Zapata Telephony):2Wアナログ,BRI,PRI
- SIP
- H.323(Open H.323)
- IAX / IAX2 (Inter Asterisk eXchange :独自) NAT越えが容易
- Skinny(SCCP:Cisco)
- MGCP
- Modem (ISDN:ISDN4Linuxチャネルのこと)
- Voicetronix対応がいくつか

Asteriskのサポートするプロトコル

(別途配布されているもの)

- CAPI (ISDN CAPIチャネル/ドライバ) EICON Divaなどが使用
- mISDN
- vISDN (HFCチップセット用のBRIチャネル)
- SCCP
- Sirrix (ISDN)
- UNISTIM(Asterisk 1.6からは含まれる)

Asteriskのサポートするプロトコル

- Google Talk(GTalk)
 Jabber/XMPP
- Skypeはサポートしません(Markの公式見解) 『Skype側が情報を開示しない限り、我々から歩み 寄ることはない』
- どうしてもSkypeをつなぎたい人 B2BUA式のものがいくつか市場に出ている

Asteriskを使うには?

- 必要なもの サーバ機(ほとんど何でも)
- IP電話機 物理的な電話機は必ずしも必要ではない
- 余っているサーバ機とソフトフォンでなら予算ゼロから試すことができる
- Apacheのソースインストールから設定程度のスキルがあれば問題なし
- 場合によってはAsterisk NOWなど
- 難しく考えないで、やってみる!

日本国内対応の成果

- 日本語音声およびパッチトーキーの音声ファイルの日本語化 (実は"竹田えり"さんが喋ってます)
- ナンバーディスプレイ対応(アナログ)NTTのCID信号を処理できるパッチ(回線側のみ)
- ひかり電話(ホーム向け)対応 RT-200KI/NE,PR-200NEなどNTTのTAを使用可能に(デジタル終端が容易に)
- セッションタイマーパッチ
- Asteriskの知名度UPとともに参加者が増加中

日本国内対応の成果

- アプライアンス開発が序々に盛んに 玄箱Asterisk バッファローのNASキット、玄箱をAsterisk箱に 玄箱Proでも稼動するようになってきている コンパクトで安価なため手軽にAsteriskを始める には最適なプラットフォーム バイナリ配布は今後とも継続の予定
- コンパクトPCを探すユーザが増加中 ファンレス、ディスクレスで扱いやすいAsteriskを
- 国内向けGUIは序々に

日本国内対応の成果

- Microclient JR(いわゆる\$100PC)対応
- 音声合成機能をAsteriskに統合 AquesTalkをAsteriskに統合 extensions内で日本語記述が可能になった

exten => 5000,n,AquesTalk2("あな\'たの、でんわば\'んごーわ、<NUM VAL=\${CALLERID(num)}>\,\,デ_ス",,110,#*)

- 標準音声のAquesTalk音声化 合成と標準トーキーの差異がなくなる
- 開発者はまだまだ足りていません やってほしいことが・・・後ほど解説

日本国内向け対応の課題

- コールパーク問題は、ある程度解決
- ラインキー問題はまだまだ そもそも電話機メーカが協力的でない (情報開示されていない) ラインキー付電話機だけを買いにくい
- PBXメーカ = 電話機メーカなので理解できる部分 もあるが・・・
- "Asterisk対応"はビジネスチャンスと捉えてもらえるとありがたい

ラインキー問題

- やはりまだ「言われる」
- 運用方法で対応できないわけではないのだが
- もしかすると解決できる「かも」

昨年の続き。。。

- bluetoothで携帯電話接続 chan_cellphone -> chan_mobile と名称変更
- パッチ提供からasterisk-addonsに統合された
- 現在のところ正式版は未リリース(svn headのみ)
- 1.6のAddonsに含まれるかもしれない
- Linuxのbluetoothサポート(Bluez)の問題はモロに 影響を受けるため相性問題は結構ある
- 古いドングルの方が良く動くらしい

デュアル端末

- 超便利!
- いつの間にやら都内の地下鉄はM-Zoneのエリアになっている
- 地下鉄駅からWiFi経由で自宅内線に
- ・ ホテル/カフェ等でも利用可能
- 単独で買える端末としては未だノキアE61しかない E65やE51/E90など魅力的な端末が海外には。。。
- N902ILもAsteriskで動いたらしい

Asterisk 1.6

- 現在のステータスはβ1
- 内部変更が多いので注意 今回もdeplicatedはたくさんあります
- 1.0/1.2系から1.4を飛ばしてのアップグレードは難しいかもしれないので、今のうちに1.4書式をチェックしておくべき
- CLI/AMIの変更点もあり
- chan_unistim(Nortel UNISTIM)ドライバが標準に
- 言語ファイルの配置は1.4スタイルが標準に

Asterisk 1.6

- SIP セッションタイマーサポート(んちゃら電話で使えるか?)
- SQLiteドライバ
- IP電話機のプロビジョニング機能(Polycomだけ?)
- extenのパターンマッチ変更

などなど。

- 1.6への移行は慎重に
- 今回も初期バージョンは問題が多いのではないか?と予想される。

Asteriskの情報

- 宣伝です!
- 高橋の書籍

「AsteriskでつくるIP電話システム」
「Asterisk徹底活用ガイド」(1.0~1.4リファレンス)
「AsteriskNOWではじめるIP電話」

情報を得るには

- VoIP Wiki(英語)
 http://www.voip-info.org
- VoIP Info JP
 http://voip-info.jp/
 高橋のWiki
 日本国内における情報を集約中
 日本語音声ファイルや対応パッチ等も提供
- 日本Asteriskユーザ会(J*UG) http://asterisk.gr.jp